

稲作情報 No.4

麦成熟期予測・水稻の初期生育確保

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会〔作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会〕

【概況】

麦の平坦部の出穂期の盛期は4月16日頃となりました。奥越地区は5月8日頃の見込みです。
早生品種を中心に田植えが順調に進んでいます。収量確保のためには、移植後1か月の初期生育の確保が重要です。

〔大麦〕

- ・奥越地区では赤かび病の発生防止のため、**出穂期から5日後頃の開花始期と、その7～10日後の計2回の防除**をしましょう。
- ・圃場内にカラスノエンドウの発生が確認された場合は、早めに手取り等を実施しましょう。
- ・**成熟期の予測は、平坦部で5月30日頃、奥越地区で6月17日頃となる見込み**です。

〔水稻（初期生育確保のために）〕

- ・初期の分けつが増え難くなるため、老化苗の移植は避け、葉齢2.5程度の適期苗の移植を心掛けましょう
- ・安定して穂数を確保し、収量の増加につなげるため、**栽植密度は60株/坪以上に**しましょう
- ・植付後は、分けつしやすいよう浅水管理（水深3cm程度）を実施しましょう

【麦圃場内のカラスノエンドウに注意！】

【成熟期の目安】

出穂期から毎日の平均気温を積算して750℃になる頃

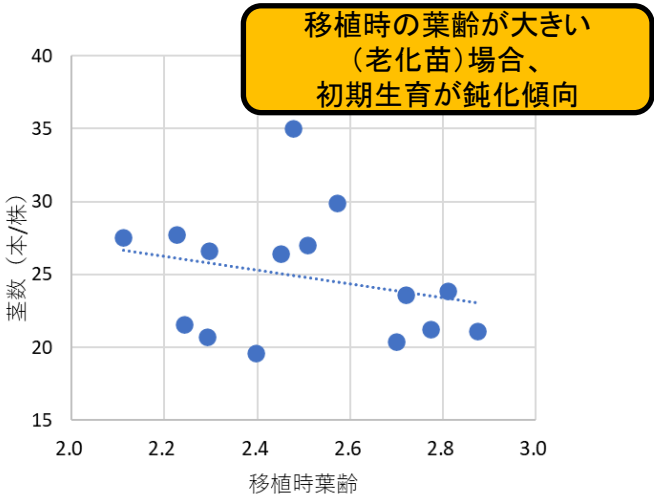


圃場に発生したカラスノエンドウ
(左:4月末撮影・右:成熟期時)

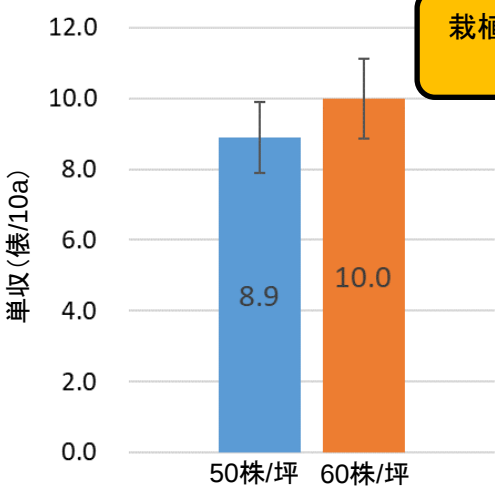


【水稲の初期生育確保のために】

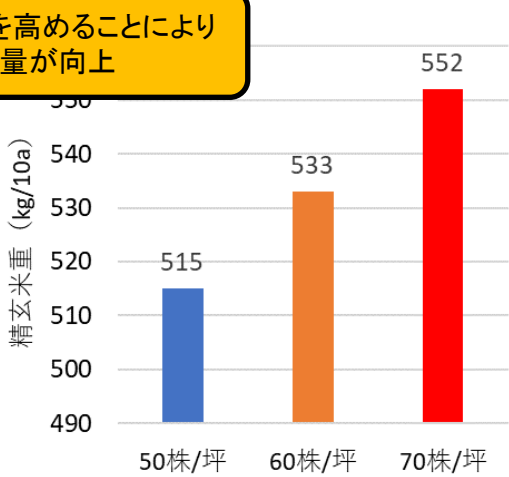
- ・適期に田植えを行い、老化苗の移植を避けましょう
- ・栽植密度は60株/坪以上にしましょう
- ・植付後は、浅水管理（水深3cm程度）とし、分けつを促進させましょう



移植時葉齢と移植1か月後の茎数の関係
(農試5/20移植コシヒカリ 2010～2024)



栽植密度と収量の関係性
(令和6年産福井県シャインパール)



栽植密度と収量の関係性
(富山県5月中旬移植コシヒカリ
2005,2006の平均値※)
※守田ら(2011)論文より作図

気象予報

1か月予報 (2025年5月8日発表) の解説 新潟地方気象台

向こう1か月の天候の見通し
北陸地方 (5/10～6/9)

予報のポイント

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込みです。
- ・湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並が多いでしょう。日照時間は平年並か少ないでしょう。

日付	今日 08日(木)	明日 09日(金)	明後日 10日(土)	11日(日)	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)
福井県	晴	曇後一時雨	曇一時雨	曇	曇時々晴	晴時々曇	晴時々曇	曇時々晴
降水確率(%)	-/-/0/0	0/10/40/80	70	40	30	20	20	30
信頼度	-	-	-	C	B	A	A	A
福井 最低/最高(℃)	- / 23	14 / 24	15 / 27	14 / 23	13 / 22	11 / 26	12 / 28	15 / 28

		1週目 5/10～5/16	2週目 5/17～5/23	3～4週目 5/24～6/6
天候		天気は数日の周期で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わりますが、湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
平均気温	北陸地方	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並20 高70% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
	数値は予想される出現確率(%)です			